

環研センターNEWS

平成28年1月号 山形県環境科学研究センター

平成27年度酸性雨調査結果について

～やまがた酸性雨ネットワーク事業～

やまがた酸性雨ネットワーク（平成13年7月設立、現会長：山形大学理学部教授 柳澤文孝氏）は、県内の酸性雨の状況やその生態系への影響に係る調査研究等を行う大学等の高等教育機関や試験研究機関、行政機関などが、広く情報交換を行い、交流の促進を図ることを目的に設立された組織です。

ネットワークでは、身近な環境問題の一環として酸性雨に理解を深めてもらうことを目的に、「酸性雨一斉調査」を平成14年度から継続して実施しています。

今年度は、11月に県内の小中高校あわせて11校、一般から47個人・12団体の参加を得て、県内21市町村70地点で調査を実施しました。

その結果、全降水のpH平均値は5.08であり、調査数の90.2%がpH5.6以下の酸性雨でした。なお、近年はいずれもほぼ横ばいで推移しています。

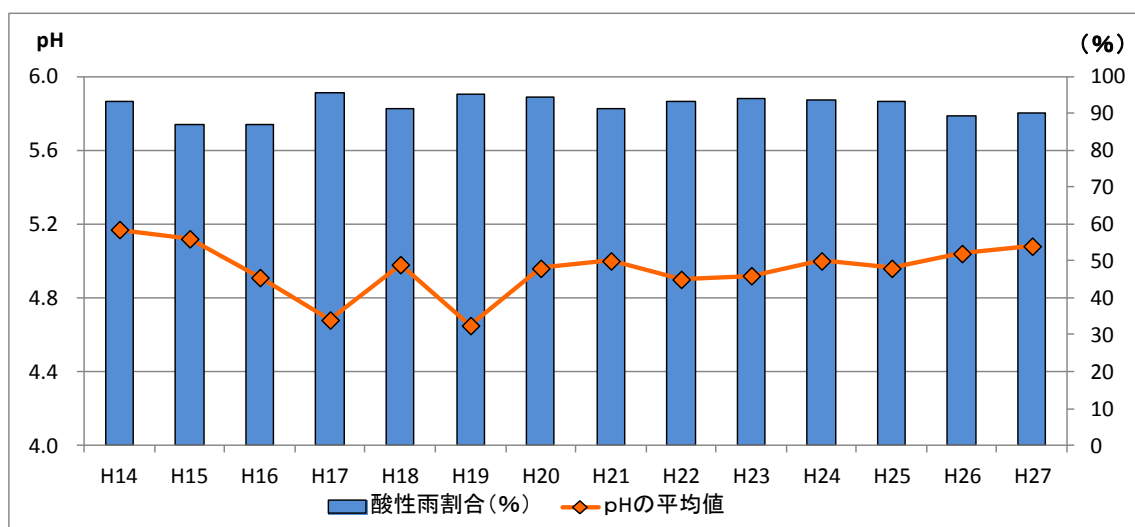


図 pHの平均値及び酸性雨割合の経年変化

今後も県内の小・中・高等学校や個人・団体の協力を得ながら、酸性雨調査を継続実施する予定としています。

詳しい調査結果は当センターのホームページに掲載していますので、ご覧ください。

掲載URL <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/053001/joho/sanseiunet.html>

クリスマスリース作りを開催しました

12月13日に、当センターにおいて「クリスマスリース作り」を開催しました。当初は約20名の定員を想定していましたが、申し込み多数のため、午前・午後21名ずつの2部制で実施しました。

参加した皆さんが持ち寄った飾りと、センター職員が収集した様々な植物のつる・枝・実を材料に、それぞれ工夫を凝らしたリースを作成していました。

情報棟では、作成したリースの一部を展示していますので、見に来てください。



村山総合支庁北庁舎にペレットボイラーが設置されました

県では、地産地消の再生可能エネルギーの活用を促進するため、各総合支庁のボイラーの更新にあわせて、「木質ペレットボイラー」の導入を行っています。当センターに隣接する村山総合支庁北庁舎（村山市楯岡笛田）にも27年11月に完成し、稼働しています。

当センターでは、この施設の見学案内を受け付けています。また、木質バイオマス（ペレットや薪など）を利用したストーブやボイラーなどの再生可能エネルギーについても説明が可能です。

個人・グループを問いませんので、お気軽にお問い合わせください。



木質ペレット

出前講座を利用してみませんか？

県内各地の学校や公民館などに「環境教室（出前講座）」の講師として職員を派遣します。また、環境分野の専門家「環境アドバイザー」や「地球温暖化防止活動推進員」を、研修講師として派遣する事業を行っています。

講演料などの派遣経費は無料です。ぜひお気軽に御相談ください！

※会場費や材料費等については、御負担いただく場合があります。また、講師のスケジュールの都合により、要望に沿えない場合もありますので、御了承ください。

編集 山形県環境科学研究センター 環境企画部

村山市楯岡笛田三丁目2-1

TEL 0237-52-3124 FAX 0237-52-3135

ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/053001>